

Hyogo大好き!

18号
2022年
春号

自宅療養者等支援センター、万全に!

～兵庫県議会 3月定例会～

すべての政党に要望書を手渡し!

～オンライン本会議 要請行動～



兵庫県議会議員

相崎 佐和子 県政活動ニュース

新型コロナウイルス感染症が発生して2年以上が経過しました。

お亡くなりになった方々に哀悼の意を表するとともに、対策に力を尽くして下さっている多くの方々に深く感謝を申し上げます。

そして多大な影響を受けている

すべての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

今後いっそう、万全なコロナ対策に取り組んでまいります。何をおいてもまずは、命と暮らしを守ることが最優先です。

そして私たちの生活を立て直し

す。厳しい状況を力強く支援し、コロナで生じた新しいスタイルや価値観などを取り入れた、これまで以上の社会を創りたいと思っています。

一人ひとりを大切にしたい新しい社会に向けて、いっそう力を尽くすことをお約束します。

Profile

- 【**生まれ**】1973年 芦屋市生まれ
- 【**学歴**】明石市立松が丘小学校→宝塚市立仁川小学校
私立親和中学・女子高校(神戸市)
国立奈良教育大学・大学院
- 【**職歴**】アナウンサー(リポーターなどテレビに多数出演)
第12代 兵庫県広報専門員
(県広報TV番組など企画から出演まで)
市議会議員(3期12年) 第61代議長
兵庫県議会議員(1期3年)
- 【**役職**】ローカルmanifesto推進連盟 共同代表
(全国約800名が加盟 早稲田大学manifesto研究所と連携)
出産議員ネットワーク 関西ブロック代表
(議員として出産を経験した女性議員でつくる全国組織)
- 【**受賞歴**】第11回全国manifesto大賞 優秀賞(個人)
第16回全国manifesto大賞 グランプリ(団体)
- 【**資格**】教員免許(小学校・中学校社会・高校地理歴史)
- 【**家族**】夫(宍粟市出身)・長女(2005年生)・次女(2009年生)

情報 どんどん発信中!

もっと情報をお届けしたい、もっとお声をお聞きしたい。その思いから、様々な方法で情報を発信しています。皆様に情報が届き、お声を聴かせていただくことができれば嬉しい限りです。

<p>LINE@</p>	<p>YouTube</p>	<p>facebook</p>	<p>Twitter</p>
<p>Instagram</p>	<p>ホームページ</p>	<p>メールマガジン 「相崎佐和子レター」 親しい方に手紙をお送りする気持ちで書いています。 登録方法 裏面のメールアドレスまで</p>	<p>活動ニュース バックナンバーはHPに。郵送希望はご連絡を</p>

緊急行動! ロシアの侵攻について非難決議を採択!

2月24日にロシアがウクライナに侵攻するという、大変な事態が発生しました。国連憲章の原則に反することであり、ウクライナの主権と領土を侵害するものです。

兵庫県議会で事態を深刻に受け止め、3月2日に「ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議」を、全会一致で可決しました。“対話による世界平和を希求し、国際社会と連携してあらゆる外交努力をもって、ウクライナから

の無条件即時撤退と原状回復に全力を尽くす”ことを強く要請するものです。外交について県議会が全会一致で決議（意思表示）することは極めて珍しく、平和を願う想いは共通であることが具現化されたと捉えています。

その後、県議会議長が在大阪ロシア総領事館を訪れ、この決議文を直接手渡しました。総領事から「本国に報告する」との返事があったそうです。また兵庫県では、ウクライナ避難民へ

の相談対応、県営住宅の入居、ウクライナへの募金などを始めています。今後もウクライナへの具体的な支援等を検討しながら、世界平和の実現にむけて不断の努力を続けてまいります。



非難決議

自宅療養者等支援センター、万全に! ～補正予算 質疑～

兵庫県議会の第357回定例会が、2月16日～3月24日にわたって実施されました。相崎は議案質疑（提出されたアイデアについて疑問などを問う）で登壇しました。取り上げたテーマの1つは「自宅療養者等相談支援センターの強化」です。

コロナ第6波の感染者急増を受け、県は「自宅療養者等支援センター」を1月28日に設置しました。自宅療養者や濃厚接触者からの健康相談などに24時間対応するセンターです。対象の方々のご不安などにお応えし手

厚いサポートを実施するため、また保健所や医療機関への負担を軽減するために、センターの着実な運営が必須です。実際に「対象者が多くて相談員が不足している!」「案内した医療機関の受け入れ体制が不十分!」などのお声を聴きます。そこで、運営の重要ポイントである「相談員の確保」と「スムーズな医療機関への案内」について質問しました。斎藤知事から「これらを含めセンターを強化する」との答弁がありました。

特にコロナ対策は、現場の声を聞

いて、的確に課題を解決することが必須です。今後も私たちの声を政治の場にあげ、真に私たちのためになる改善を重ねてまいります。



知事の住居はどこが良いのか?

兵庫県議会の3月定例会で、「知事の住居はどこが良いのか?」が議論になりました。齋藤元彦知事は現在「県庁まで車で20分、自転車で40分(ご本人談)」にお住まいです。かつて貝原俊民知事は、阪神・淡路大震災の時に県庁から3キロ離れた公舎に住んでいたため、発生から2時間半後の登庁となりました。続く井戸敏三知事は、この事例を

踏まえて県庁から徒歩5分の公舎に住居していました。この状況から、「知事は危機管理の責任者として、県庁近くに居住すべき」との声が上がったのです。

齋藤知事は「災害発生時はリモート通信などで初動対応しながら緊急登庁する」「私人としての立場もある。子どもがおり総合的に考えて現在の居住地にした」とのこと。私は、「仕事と家

庭の両立」「ワークライフバランス」の環境整備をライフワークの1つで取り組んでおり、トップがワークライフバランスを体現するのは大歓迎です。一方で、危機管理の観点で現在の居住地に懸念の声があるのもよくわかります。

家庭やプライベートを大事にしながら、災害時には万全に対応できる体制を願います。

すべての政党に要望書を手渡し!

1月下旬、上京して各政党へ「要望行動」をしました。要望書を渡して意見交換をする活動です。内容は「オンライン本会議の実現に向けた地方自治法改正」。“コロナやライフイベント(出産・育児・介護)で本会議場に行けない場合、オンラインで本会議を開催したり出席したりできるよう、法律を改正してください!”という要望です。

下記2団体の連盟で要望しました。相崎はどちらにも深くかかわっています。

・ローカル・マニフェスト推進連盟(相

崎:共同代表):政策中心の議論を尽くす議会づくりを進める

・子育て議員連盟(相崎:役員):出産育児介護などと議員活動が両立できる環境整備を進める

要望内容について、どの政党も“地方議会からの貴重な声”として大いに賛同してくれました。実現方法については、政党によってスタンスや方法は様々でしたが、いずれも有意義な意見交換ができました。

その後、国会でこの件が大きな議論となり、緊急事態には国会でのオン

ライン審議が認められることになりました!議論の場となった憲法審査会では、「地方議員の超党派の議員連盟である子育て議員連盟、ローカル・マニフェスト推進連盟から、地方議会の本会議におけるオンライン出席を求める要望を受けている。各党に回られているはず」との発言もありました。

要望行動が国会を動かしました!大きな一歩を踏み出せたと思っています。これからも、現場の声、地域の声、私たちの声を、力強く国に上げてまいります。



※公明党・共産党は郵送。れいわ新選組は事務所預け

全国マニフェスト対象 日本一とりました!

「全国マニフェスト大賞」というコンテストがあります。“政策の甲子園”と呼ばれる全国最大規模の政策コンテストです。今回は2,730件の応募があり、グランプリ(日本一)に“出産議員ネットワーク・子育て議員連盟”が選ばれました。私が関西ブロック代表を務める団体です。光栄の限りであり、大変嬉しいです。出産議員ネットワーク(以下、出産N)は、議員として出産を経験した地方女性議員の集まりで、全国約100人が所属しています。自身の経験を教訓に、出産や育児、介護などと議員活動が両立できる仕組みの整備を通して多様な人の声が届く議会に、そして誰もが個性や能力を十分に発揮できる社会づくりを目指しています。

なぜ出産Nが日本一を取ったのか。

○全国アンケート実施

全国のすべての議会、当事者にアンケートを取り、感情論でなくエビデンス(証拠)に基づく理論を展開

○法律の制定・改正

「政治分野における男女共同参画推進法」の成立を全政党に直接要望して実現。法改正時も要望活動して内容が反映。

○議会規則の変更

議会規則を出産育児介護がしやすいように変更すべく、標準ルールを定める議長会に要望活動して実現。ほとんどの議会が規則を変更。

日本一を受賞は嬉しかった!でもこれは相崎の功績ではありません。全国の議員が党派を超えて連携して法

律や規則を変えたからです。これからも、全国の仲間議員と連携して、誰もが個性と能力を発揮できる社会づくりを進めていきます!



●芸術文化観光専門職大学@豊岡市

昨年4月、但馬エリアに4年制の県立大学である「芸術文化観光専門職大学」が開学しました。芸術文化と観光の2つの視点を生かし、地域を元気にする人材を育成する公立専門職大学です。

この大学の面白いところは地域と連携していること。「演劇のまち但馬」として地域活性化に取り組む地元とコラボレーションして、芸術文化と観光を地元と一緒に盛り上げています。今後のポイントは就職。この大学での学びが芸術や観光を支える分野での活動に繋げることが課題です。

悲願とされていた但馬エリアの4年制大学。コロナ禍での開学となりましたが、学生は地元の方々から愛がられながらイキイキと好きなことを学んでいました。

学長の平田オリザ氏は大変クレバーで信頼度大。これからの伸びに期待が膨らみます。ぜひご注目ください!



●水素実証基地@神戸市

神戸空港島に水素実証基地があります。水素エネルギーは、温室効果ガス排出削減に寄与する次世代の新エネルギーとして注目されています。

オーストラリアの広大な褐炭炭鉱からの水素を液化して1/800に凝縮し専用船舶で国内に輸送するプロジェクトがあり、神戸のプラントでの受け入れが計画されています。

水素社会の推進において兵庫県はポテンシャルが高いとのこと。発電や製鉄など活用が見込まれる分野で関係企業と連携して先導する役割が期待されています。

水素エネルギー活用は、コストダウンが課題であるものの、環境問題対策に大きな可能性を秘めています。関係企業等を巻き込んだ仕組みづくりなど、積極的な働きかけを行っていきます。



●スパコン富岳@神戸市

神戸ポートアイランドの理化学研究所(理研)に「スーパーコンピューター富岳」があります。スーパーコンピューター(=スパコン)は、膨大な量の計算を超高速でこなすコンピューターです。平たく言えば“すごい量の計算が、とんでもない速さでできるコンピューター”で、この技術が様々な研究や開発に役立つのです。「富岳」はスパコンの中でも、計算速度などスパコン主要4指標で、2位以下を引き離してダントツ1位をキープしている、正真正銘の「世界一のスパコン」です。

それが県内(神戸ポアアイの理研)に存在する意義を認識し、県として利活用のバックアップに取り組みたいところです。具体的には、企業や研究機関への情報発信とRR、研究における助成金、利用のマッチングやコーディネイト、活用方法などの講習会・・・できることは山積。

県にある世界一のスパコン「富岳」。利活用の支援を積極的に進めていきます。



●児童養護施設@丹波市・神戸市

児童養護施設は、保護者のいない児童や虐待されている児童を養護し、成長と自立を支援する施設です。実態を見て話を聞きたくて、丹波市と神戸市の施設へ。

「もっと里親制度を充実させたい」「退所後のロールモデルがあると児童が未来に希望を持てる」「増えている外国籍児童の対策が必要」など、様々な現場の声を聞きました。

尽力されている教職員の方々に感謝。子どもたちの未来のために諸課題を解決していきます。

